

社会貢献と
地域振興をつなぐ、
協働の未来。

第9回 協働の森フォーラム

森からはじまる地方創生

企業として、大学として、個人として、「地方創生」にどう関わることができるのか
協働の森づくり事業をきっかけとした繋がりを更に深化させることで、地方と都市とを繋ぎ、様々な協働によりイノベーションを生み出せないか。地方にとっての「産業振興」、「地域活性化」、企業にとっての「社会貢献」の新たな展開について、様々な事例を織り交ぜながら、共に考えていきます。

開催日時

平成27年8月29日(土)
14:30~17:40 (開場13:30)

開催場所

高知工科大学 講堂
高知県香美市土佐山田町宮ノ口185 香美キャンパス

プログラム

14:30	開会あいさつ(高知県知事、香美市長)
	感謝状贈呈(6法人)
15:00	基調講演 株式会社オルタナ 代表取締役社長 森 摂
15:45	休憩 「協働と森とオープンイノベーション」
16:00	パネルディスカッション
17:40	閉会

【パネリスト】

- 高知工科大学 学長特別補佐・大学院起業家コース長 那須 清吾
- 株式会社ツムラ コーポレート・コミュニケーション室 環境・社会活動グループ 歌川 博幸
- 富士通株式会社 地域新ビジネス推進統括部 統括部長 渡辺 豪千
- 高知県知事 尾崎 正直

協働の森づくり事業とは？ 環境先進企業の皆様、市町村及び高知県が協働して、手入れの行き届かない状況となっている森林の再生や地元住民と企業の皆様との交流を通じた地域の活性化を進めようとするものです。これまで、延べ62の企業・団体と協定を締結しています。

主催：高知県
共催：香美市

【お問合せ】
高知県林業振興・環境部 林業環境政策課
〒780-0850 高知市丸ノ内1丁目7-52 Tel:088-821-4586 Fax:088-821-4576

人が森を助ける。
森が人を助ける。



基調講演講師・ディスカッションコーディネーター

profile

株式会社オルタナ 代表取締役社長・編集長 ^{もり} ^{せつ} 森 摂

東京外国語大学スペイン語学科を卒業後、日本経済新聞社入社。流通経済部などを経て1998年-2001年ロサンゼルス支局長。2006年9月、株式会社オルタナを設立。オルタナは環境とCSRの両方を前面に掲げる日本で唯一の「ソーシャル・イノベーション・マガジン」として、環境、CSR、自然エネルギー、第一次産業、ソーシャル、エシカル等の分野についての情報を発信。2008年7月発行の8号には「森林ビジネス 今がチャンス」として、高知県の協働の森づくり事業の取り組みを掲載。

オルタナのミッションとして、①環境や健康、CSR(企業の社会責任)など、新しい(オルタナティブな)ビジネスの価値観で動く企業を積極的に報道する。②こうした企業と連携し、コミュニティをつくり、相互交流を図る。③そのコミュニティの輪を広げ、私たちの社会に新しいビジネスの価値観を広げる。の3つを掲げている。

主な著書に『ブランドのDNA』(日経ビジネス、片平秀貴・元東京大学教授と共著、2005年10月)など。訳書に、パタゴニア創業者イヴォン・シュイナードの経営論「社員をサーフィンに行かせよう」(東洋経済新報社、2007年3月)がある。一般社団法人グリーン経営者フォーラム代表理事。特定非営利活動法人在外ジャーナリスト協会理事。

パネルディスカッション・パネリスト

高知工科大学
学長特別補佐・大学院起業家コース長なす せいご
那須 清吾

香美市との協定

2008年に学校法人としては初めて協働の森づくり事業のパートナーズ協定を締結。交流活動には多くの学生が参加し、森林保全や環境問題について考える良い機会となっている。

センター長を務める社会マネジメントシステム研究センターでは、地域活性化や事業創造、地域経営などの個別的課題を解決する為の社会マネジメントシステムの創造により社会貢献を行っている。

2012年7月、株式会社グリーン・エネルギー研究所設立とともに代表取締役社長に就任し、木質バイオマス発電事業等を推進。高知県の豊かな森林資源の有効活用により、環境エネルギー問題や林業及び関連産業の振興に取り組んでいる。

株式会社ツムラ コーポレート・コミュニケーション室
環境・社会活動グループうたがわ ひろあき
歌川 博幸

越知町との協定

漢方製剤の原料は、「自然の恵み」である生薬。ツムラは生薬生産地の自然環境を大切な「資本」と考えた経営を行い、持続的に生薬が調達できるための栽培研究や環境保全対策など、ツムラ独自の環境資本政策を推し進めている。

2008年に越知町にある生薬栽培団体、農事組合法人ヒューマンライフ土佐を含む協働の森パートナーズ協定を締結し、森林整備を支援している。

また、年に3回、総合学習の一環として越知中学校の生徒と一緒に環境学習や薬草採取の体験を実施し、身近にある自然や地域の人の大切さについて考える交流活動を行っている。

富士通株式会社 地域新ビジネス推進統括部
統括部長わたなべ ひでゆき
渡辺 豪千

中土佐町との協定

地球環境課題の克服や持続可能な社会に向け、「人」を支えるテクノロジーにこだわり、ICTの力で人々の生活や社会全体を変えていくヒューマンセントリック・イノベーションの

実現にグループ全体で取り組んでいる。

2007年に協働の森のパートナーズ協定を締結し、「富士通グループ・中土佐 協働の森」において毎年、環境活動を実施。間伐、水生生物調査等を行っている。

また、2014年にはICTを活用しながら地域産業を支える「地域応援プロジェクト」を立ち上げ、高知県の観光分野や地産外商分野などの産業活性化を通じた市場形成を目指す取り組みを行っている。



高知県知事

おざき まさなお
尾崎 正直

2007年高知県知事に就任し、現在2期目。森林環境税や環境省のオフセット・クレジット(J-VER)制度を全国に先駆けて導入するなど、環境先進県としての取り組みを全国に発信。

また、企業・団体の皆さまと協働の森づくり事業パートナーズ協定を締結し、森づくりを通じた環境保全・地域振興の取り組みを推進している。

本年3月には、都道府県では全国のトップをきって地方版「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定。人口減少による負の連鎖を克服するため、本県が抱える課題に真正面から向き合い、産業の振興、雇用の創出に向け、官民協働による取り組みを進めている。

(敬称略)



【会場へのアクセス】

- 航空機** 高知龍馬空港から車・タクシーで約20分
- 鉄道** JR土佐山田駅からバス・タクシーで10分
- お車で** 高知自動車道 南国ICから約20分
高知市中心部から約40分

人が森を助ける。
森が人を助ける。